



社会・認知心理学研究室

Social and Cognitive Psychology Lab.

Keywords: Decision making, Emotion, Shared Reality, Implementation



讃井 知
Sato SANAI



上市 秀雄
Hideo UEICHI

研究室の目標:

当研究室では「社会」「認知」「感情」をキーワードにして、意思決定プロセスを
 「どのように考え、判断・決定をしているのか」 : 決定プロセス
 「結果をどのようにとらえ、どのように対処しているのか」 : 評価プロセス
 「それらを活かすためには、どのようにすればよいのか」 : フィードバックプロセス
 3つの視点から、様々な問題を発見・解決し、社会へ還元することを目標としています。

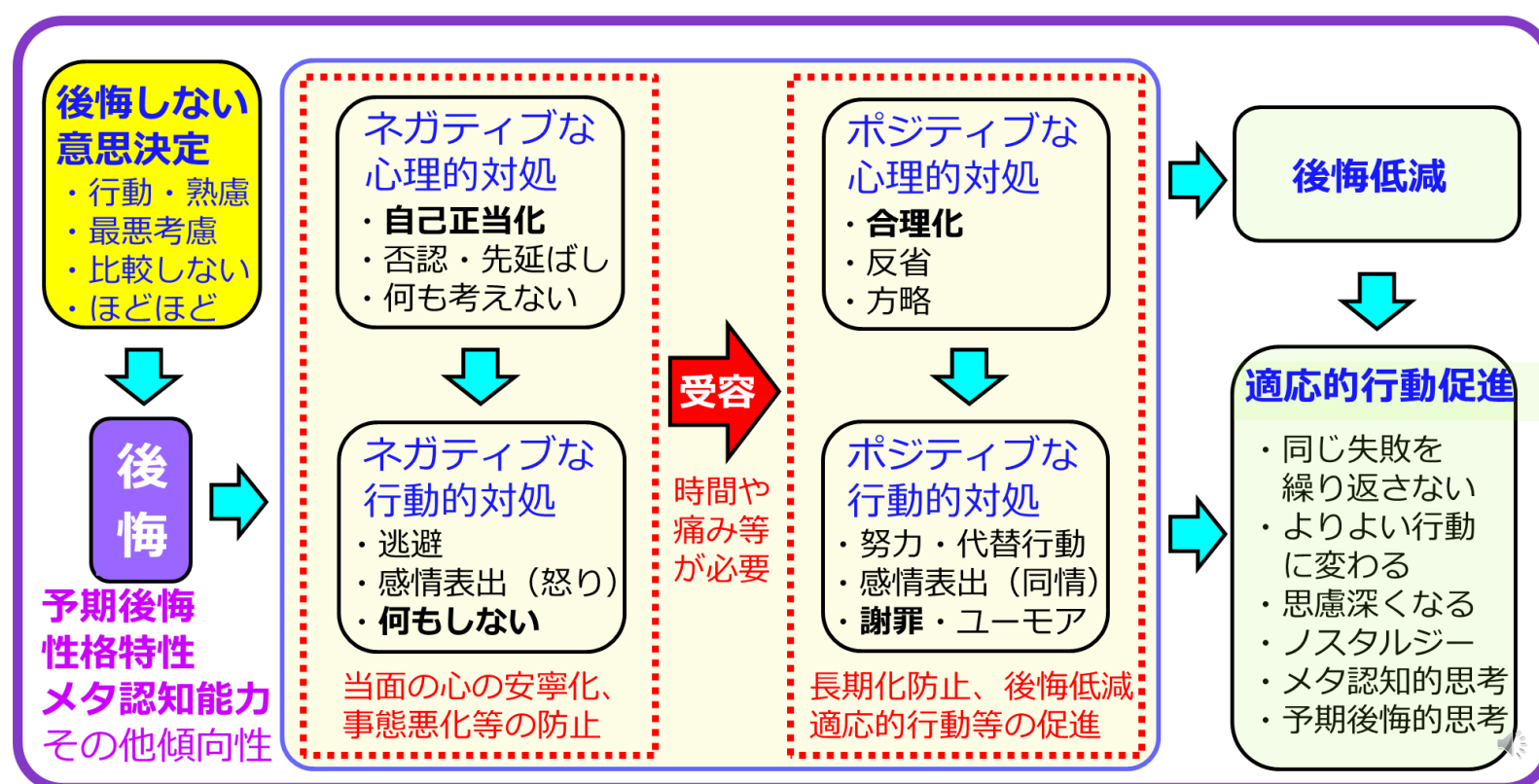
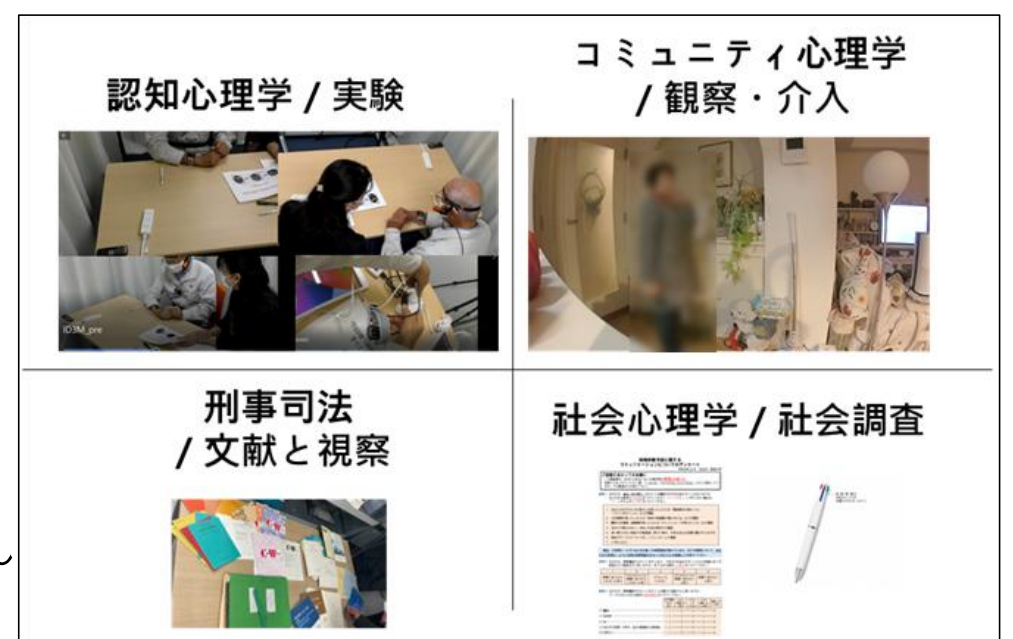
讃井の主な研究：応用社会心理学

人間中心社会の設計に向け、社会心理学の知見を現実社会へ応用する研究を行っています。

地域における防犯・防災、つながりの形成や多文化共生といった社会課題に対し、心理学的メカニズムの解明と介入の設計を通じて解決を目指しています。

課題解決のためには異分野との連携を積極的に取り入れ学際的な視点から研究を推進しています。

また、実験や調査に加えて、行政・地域・メディアと協働し、研究成果を社会に還元することを重視しています。理論研究と社会実装の双方に関心を持つ学生を歓迎します。



上市の主な研究：後悔対処・活用プロセス

後悔に適切に対処するためには、後悔した出来事を「**受容**」することが重要です。痛みや時間がかかるかもしれませんが、受容することにより、後悔が低減し、適応的行動が促進される可能性が高くなります。

上市(2022)「後悔を活かす心理学」中公新書より

メッセージ:

当研究室に所属した学生で博士取得者は4名です。大学教員や研究員になった人は5名います。ゼミだけでなく、自主ゼミも行っており、よりよい研究になるように頑張っています。自分が「面白い」と思うテーマを見つけてください。

